

# 課長「3万を超える署名の意味は重い」

## 搬入中止を求めて再度要請

4月26日、「市民の会」は、32,539 筆(前回分を含む)の署名を添えて「セシウム汚染汚泥の搬入中止を求める」要請書を知事に提出した。

以下当日のやりとり

Q:新たに課長になられた石渡さんは、現地の処分場のことはよくご存じですか？

A:現地をよく見てきました。

Q:新井総合はシートの下にもれ出して搬入停止で、私たちの恐れていたことが現実になってしまいました。どうしますか？

A:新井総合は現在搬入していません。

Q:セシウム汚染汚泥の水源地への搬入について



↑ 追加分 22,315 筆の署名を課長に手渡す山田会長



左から入江・山本(ネット)丸山(共産)の3県議も同

県から地元は何の説明もないし、前回私たちが出した知事宛の要請書への回答もない。速やかに文書回答をお願いしたい。

A:前の課長から「回答済み」と聞いている。

Q:12 月中には文書で回答すると言っていたのに 年末になって「先日話したことが回答だ」というのは変でしょう？

A:確認してみます。

Q:搬入は中止していただだけませんか？

A:国の方針が出て 8,000 以下は管理型処分場で埋立が可能となった。排出もとでの管理も限界だ。処分場の周辺に悪影響が及ばないように適正に指導する。国からは 1/20 に「埋立基準を

**8,000 以下に下げるのは科学的な根拠がな**

**い」との通知が来た。国の基準を無視してやることは出来ないので 8,000 以下は今後も入れざるを得ない。**

Q:8,000 までなら安全だ、というのこそ根拠がない。だから小櫃川の水を飲む可能性がある 35 万人の約 1 割の方が心配して署名した。それをふまえて千葉県としての判断をして欲しい。

A:国が誤っているとの根拠を県は持っていない。皆さんが心配している趣旨は承った。県は県民の皆さまのためにある。

前回も知事に伝えた、今回も知事に伝える。

3万もの署名の意味は重い。

Q:すでに搬入されている放射性物質が決して漏れ出さないように厳しく監視する一方で、万一漏れた場合の対処方法も示して欲しい。

A:検討させて下さい。(10時20分終了)

県会議員の必死の働きが  
けでやっと実現した県への  
要請はたった十五分で、  
対応したのは課長。  
県民が知事に会うのが  
そんなに難しいのか？し  
かも3万超の県民の署名  
を届けるというのに……  
県民に対する知事の姿  
勢に大いに疑問を感じざ  
るを得ない。

**署名、目標の 35,000 にあと一息！**

**水源地へのセシウム搬入中止に向け、引き続き署名を集めます。**